

第5学年 国語科学習指導案

日 時 平成20年10月10日（金）6校時

場 所 5年教室

児童数 男子4名 女子3名 計7名

指導者 阿部 泰幸

1 単元名 目的に応じた伝え方を考えよう

2 教材名 「ニュース番組作りの現場から」清水 健宇 作
「工夫して発信しよう」

3 単元について

(1) 児童について

これまで児童は、説明的文章の学習として5年上「サクラソウとトラマルハナバチ」で文章を的確に読み取ること、筆者の主張を読み取り要旨をとらえること、さらに筆者の主張に対して自分の考えをもつことの学習を行ってきた。

児童の取り組みの様子から、はじめ・中・おわりという説明的文章の形式は概ねとらえることができていた。また、筆者の考えが書いてある部分を指摘することもできた。今までに学習した説明的文章の学習の仕方が身についてきているものととらえることができる。しかし、詳しく読み取りを進めていくうちに、はじめに読み取った筆者の考えが、細部の読み取りの活動の中では、あまり生かされていないということを感じた。

このことから本教材においては、内容の大体を読み取ることと、細部を読み取ることのバランスに留意しながら学習を進めていきたい。そのためには、さらに既習事項として説明的文章の学習の仕方を生かせるような指導の工夫が必要であると考え。また、文章構成をとらえることや要旨をとらえるという活動が、繰り返し行えるような単元を構成していきたいと考える。

さらに書く活動については、視点を持って書きまとめることに取り組んできている。課題に対する自分の考えのまとめや、自分の考えの変容や友達の考えとの比較等の視点を持って書きまとめている。

(2) 教材について

第5学年および第6学年の「読むこと」の目標は「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる」である。本単元では「目的や意図に応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること」、「書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらか読むこと」を重点的に取り扱っていくこととする。

「ニュース番組作りの現場から」はニュース番組の「特集」の作り方についてまとめられた文章である。説明的文章の学習としては、「サクラソウとトラマルハナバチ」がなぞ解きのような文章であるのに対して、時系列に沿って書かれた文章である。「特集」作りの過程が段落ごとに分かりやすくまとめられているので、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえるのにふさわしい教材である。

また本単元は、2つの教材で構成されており、本教材「ニュース番組作りの現場から」は、その後の「工夫して発信しよう」の活動のための手引き、解説にもなっている。「工夫して発信しよう」では、受け手にとって意味のある話題は何か、伝えたいことの内容はどのように発信すればよいかということに留意しなければならない。「わたしの特集」を発信するという目的に沿って教材を読み進めることのできる単元構成になっている。

(3) 指導にあたって

本教材「ニュース番組作りの現場から」においては、「目的や意図に応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえる」、「書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む」ために、次のことに留意しながら進めていきたい。一つには内容の大体を読み取ること、細部を読み取ることのバランスに留意していきたい。もう一つには今までに学習してきた既習事項を活用していくような指導過程を組み、文章構成や要旨をとらえさせていくことである。さらにもう一つとして、次教材「工夫して発信しよう」の目的に沿って読むために、予め「わたしの特集」として計画を立てておき、「ニュース番組作りの現場から」の読み取りを活用できるようにすることである。

第一次「つかむ」では、「カブトガニを守る」を用いて説明的文章の学習の進め方を確認することから始める。次に「サクラソウとトラマルハナバチ」、そして本教材「ニュース番組作りの現場から」の学習へとつなげていく。

基本的な学習の進め方は、4つある。1つ目は、教材文の提示の仕方を工夫することである。具体的には段落がアトランダムな順序で並んでいる教材文を用いることである。2つ目は、はじめに要旨が書いてある段落を見つけることである。3つ目は、指示語や接続語、文末等の大事な言葉から各段落を読み取り、全体の文章構成をとらえることである。4つ目は、文章構成をとらえる時に、断片にした各段落を机上で操作できるようにすることである。このような学習の進め方を指導過程に取り入れることにより、大事な言葉を根拠にしなが、書いてある内容を確かに読むことができるのではないかととらえる。

さらに内容の大体を読み取ることと細部を読み取ることのバランスに留意するために、各段落の指示語や接続語、文末等を指摘したり、小見出しを書いたり、文章構成をしたりすることを読み取りのための書く活動として位置づける。

第二次「ふかめる」では、読みの課題に沿って詳しい読み取りを進める。詳しい読み取りを行った後に、段落をアトランダムに並べた「ニュース番組作りの現場から」を提示する。段落がアトランダムに並べられたものであっても、もう一度文章構成や要旨をとらえるという活動を行うことにより、より教材文の理解が深まるものと考え。さらに各段落の指示語や接続語、文末等を指摘することで内容の大体を読み取ることと細部を読み取ることができるのではないかと考える。このように第一次でも第二次でも、同じような学習活動を繰り返し行うことは、文章構成と要旨をとらえるにとどまらず、文章を読み取る力を高めるととらえることができる。

第三次「ひろめる」では、読み取ったことをもとに「わたしの特集」を発信する活動を行う。指導にあたっては、「説明的文章の筆者の訴えから、自己の考えを広げ、実践しようとする態度」を育てることをねらいとする。よって、次の3点に留意する。1つ目は、どういう理由で話題を決定したのかということである。2つ目は、どのように情報を収集したかということである。3つ目は、伝えたいことの中心がよくわかるようにどう編集したかということである。これらの点に留意した原稿を作成できるよう指導にあたりたい。

4 単元の目標と評価基準

主目標	○ 「特集」作りの大切な点を的確に押さえながら要旨をとらえて読み、伝えたいことの中心をとらえて「わたしの特集」を発信する。	
	目標	評価規準
関心・意欲・態度	◎ 必要とする情報を進んで読み取ろうとする。 ◎ ニュースを伝えることに関心をもち、伝え方や内容を工夫しようとする。	◎ 既習事項を使いながら、目的に沿って文章を正確に読み取ろうとしている。 ◎ ニュースを伝えることに関心をもち、相手に分かるような「わたしの特集」を発信しようとしている。
読むこと	◎内容を的確に押さえながら、要旨をとらえることができる。 ○ニュースを発信するために、内容を的確に押さえながら効果的な読み方ができる。	◎内容を的確に押さえながら、要旨を読み取っている。〔読 イ〕 ○ニュースを発信するために、内容を的確に押さえながら必要な情報の読み取り方を学び、読み取っている。〔読 イ・オ〕
書くこと	◎相手や目的に応じ、必要な材料を集めたり、選択したりして書くことができる。	◎聞き手に伝えたい内容がよく分かるような組み立てを考えながら、適切な言葉遣いで話している。〔書 イ〕
言語事項	○ 文や文章には、いろいろな構成があることを理解することができる。	○ 文や文章には、いろいろな構成があることについて理解している。〔言 オ (ア)〕

5 指導計画 (全14時間)

段階	時間	学習活動	評価規準	書く活動
第一次 つかむ	1	◎ 単元のねらいを知り、学習の見通しをもつ。 ◎ 「カブトガニを守る」を用いて既習事項を確認し、学習の仕方をまとめる。	◎ 「ニュース番組作りの現場から」の学習の仕方を理解し、学習の見通しをもっている。 ◎ 指示語や接続語、文末等の大事な言葉を指摘したり、小見出しから文章の構成をとらえたりする等の既習事項を想起し、内容を読み取っている。	●指示語や接続語、文末等の大事な言葉にサイドラインを引く。 ●小見出しをつける。 ●文章構成図を書く。

	2	◎ 「サクラソウトトラマルハナバチ」の文章構成と要旨をとらえる。	◎ 既習事項を想起し、内容を読み取っている。	●指示語や接続語、文末等の大事な言葉にサイドラインを引く。 ●文章構成図を書く。 ●要旨をとらえる。
	3 ・ 4	◎ 「ニュース番組作りの現場から」を読み、文章構成と要旨をとらえる。 ◎ 意味の分からない語句について意味調べをする。 ◎ 初発の感想を書く。 ◎ 特集が放送されるまでの過程を読み取るために、「ニュース番組作りの現場から」の読みの課題を設定する。	◎ 既習事項を想起し、指示語や接続語、文末等の大事な言葉から文章の構成と要旨をとらえ、内容の大体を読み取っている。 ◎ 新出漢字や語句の意味について理解している。 ◎ 心に残ったことなど自分の感想を初発の感想として書くことができる。 ◎ 目的に応じて、効果的に読むための課題を設定している。	●指示語や接続語、文末等の大事な言葉にサイドラインを引く。 ●文章構成図を書く。 ●要旨をとらえる。 ●初発の感想を書く。 ●さらに考えてみたいことを考え、付箋紙に書く。
第二次 ふかめる	5	◎ 「特集」がどんなきっかけで作り始められたのかを読み取る。	◎ 「特集」がどんなきっかけで作り始められたか読み取っている。	●自分の考えの根拠になった部分にサイドラインを引く。 ●自分の考えを書く。 ●学習して分かったことを書きまとめる。
	6 ・ 7	◎ ニュース番組を人々に伝えるまでの過程について読み取る。 ◎ 番組作りの努力や願いについて読み取る。	◎ 放送までの過程を、時間の順序にしたがい読み取っている。 ◎ 番組作りの努力や願いについて読み取っている。	●自分の考えの根拠になった部分にサイドラインを引く。 ●自分の考えを書く。 ●学習して分かったことを書きまとめる。
	8 本時	◎ 段落をアトランダムに並べた「ニュース番組作りの現場から」を読み、文章構成をとらえる。	◎ 段落をアトランダムに並べた「ニュース番組作りの現場から」を読み、文章構成をとらえ、内容を読み取っている。	●指示語や接続語、文末等の大事な言葉にサイドラインを引く。 ●自分の考えを書く。 ●文章構成図を書く。 ●学習して分かったことを書きまとめる。
第二次 ひろめる	9 ・ 10	◎ 教材文から、自分の伝えたいことの発信の仕方を学ぶ。 ◎ 「わたしの特集」の企画書を作り、自分が伝えたい情報を発信する計画を立てる。 ◎ 「わたしの特集」を伝えるための必要な材料や取材方法を考える。	◎ 編集の仕方を学んだり、「わたしの特集」を発信するための計画を立てている。 ◎ 構成や放送原稿の記述を念頭に置きながら、必要な情報を収集・選択している。	
	11	◎ 取材をする。	◎ 構成や放送原稿の記述を念頭に置きながら、必要な情報を収集・選択し、取材している。	
	12	◎ 編集をする（伝えたいことを中心に考えて、材料から使うものを選び、構成を考える）。	◎ 「わたしの特集」の放送原稿の構成について理解し、まとめている。	
	13	◎ リハーサルを行う。	◎ 「わたしの特集」の原稿を、伝わりやすいように、間や声の調子に気をつけて話している。	
	14	◎ 「わたしの特集」を発信する。 ◎ 学習を振り返る。	◎ 「わたしの特集」の原稿を、伝わりやすいように、間や声の調子に気をつけて話している。 ◎ 「わたしの特集」に合った構成になっていたか、受け手を考えた言葉の遣い方をしていたか等について振り返っている。	

6 本時の指導 (8/14)

(1) 目標

段落をアトランダムに並べた「ニュース番組作りの現場から」を読み、指示語や接続語、文末等の大事な言葉から文章の構成をとらえることができる。

(2) 授業仮説

文章の構成をとらえる活動を繰り返すような単元構成を組み、大事な言葉を根拠にして文章の構成をとらえるための書く活動を位置づければ、確かに文章を読み取ることができるであろう。

(3) 展開

段階	学習活動	支援と評価
<p>つかむ</p> <p>3分</p>	<p>1 学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>大事な言葉に気をつけながら、文章の構成をとらえよう。</p> </div> <p>2 読みの視点を確認する。 ①はじめの段落をとらえる。 ②筆者の考えが書いてある段落（要旨）をとらえる。 ③順番に並べる。 ④大事な言葉に気をつけて、段落をまとめる。 ⑤文章構成をとらえる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・段落がアトランダムな順序で並んでいる教材文を用いる。 ・大事な言葉とは、繰り返し出てくる言葉や題名に関わる言葉、指示語や接続語、文末等とする。 ・読みの視点として学習の仕方を確認する。
<p>ふかめる</p> <p>27分</p>	<p>3 学習課題を解決する。</p> <p>(1) 一人学びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段落をアトランダムに並べた「ニュース番組作りの現場から」を読む。 ・はじめの段落をとらえる。 ・筆者の考えが書いてある段落をとらえる。 ・順番に並べる。 ・中の部分の段落の関係をとらえる。 ・文章構成図をとらえる。 ・自分の考えを書き込む。 <p>(2) 交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを発表する。 ・似たような意見でグループをまとめる。 ・それぞれのグループを比べ、違いについて議論する。 <p>(3) まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章構成を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>話題提示 (1)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>例示 (特番が放送されるまでの過程)</p> <div style="text-align: center;"> <p>2</p> <p>3, 4, 5, 6,</p> <p>7</p> <p>8</p> <p>9, 10</p> <p>11</p> <p style="text-align: center;">↓</p> </div> <p>まとめ (筆者の考え) (12)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人学びでは次の5つのことを読み取らせる。 ①はじめの段落をとらえる。 ②筆者の考えが書いてある段落（要旨）をとらえる。 ③順番に並べる。 ④大事な言葉に気をつけて、段落をまとめる。 ⑤文章構成をとらえる。 <ul style="list-style-type: none"> ・大事な言葉を根拠にして、文章構成をとらえさせる。 ・何を根拠としたのか、どの部分を根拠としたのか自分の考えを持たせる。 ・前時までに学習したことを想起するために、ノートに記述したことを参考にさせる。 ・はじめからカード状になっているものを使用する。 ・断片にした各段落を机上で操作できるようにする。 ・操作しながらとらえた文章構成を図に表す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ●自分の考え根拠になった大事な言葉及び叙述にサイドラインを引く。 ●文章構成図を書く。 </div> <p>(読) 指示語や接続語、大事な言葉に気をつけながら文章構成をとらえることができたか。(観察・ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠をもとに発表させ、意見を交流する。 ・「ここでは～しましょう。」という表現をはじめの段落の根拠とする。 ・「願い」、「～作っているのです。」という表現を筆者の考えが書いてある段落の根拠とする。 ・特集が放送されるまでの過程を示す言葉や「放送の～日前」という言葉を根拠とする。 ・はじめ・中・終わりという文章構成だけではなく、中の部分をより詳しくとらえ、段落相互の関係についてもとらえられるようにする。 <p>(読) 指示語や接続語、大事な言葉に気をつけながら文章構成をとらえることができたか。(観察・ノート)</p>

まとめる 15分	4 学習のまとめをする。 (1) 文章構成を通して気付いたこと書く。 (2) 交流する。 (3) 学習の感想をまとめる。 (4) 感想を交流する。	<ul style="list-style-type: none"> 筆者が自分の考えを伝えるための効果的な表現をとらえるために、書く。 気付きを交流し、共有する。 自己評価を行い、自己の学びをふりかえさせる。 交流の中でとらえたこと学習の感想としてまとめる。
	5 次時の学習内容を知る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>●文章構成に対する気付きや、自分の考えの変容や友達のとらえとの相違点等を視点にして、読み取ったことを書きまとめる。</p> </div> <p>(読)文章構成に対する気付きや、自分の考えの変容や友達のとらえとの相違点等を視点にして、読み取ったことを書きまとめているか。(観察・発言)</p>

(4) 具体的評価基準と指導の手だて

観 点	A	B	Bに至らせるための手だて
読みの能力	<ul style="list-style-type: none"> 段落をアトランダムに並べた「ニュース番組作りの現場から」を読み、指示語や接続語、文末等の大事な言葉から文章の構成を説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 段落をランダムに並べた「ニュース番組作りの現場から」を読み、指示語や接続語、文末等の大事な言葉から文章の構成を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指示語や接続語、文末等の大事な言葉を助言し、文章構成をとらえられるようにする。

7 板書計画

文章構成

はじめ 話題提示

中 例示

おわり 筆者の考え

読みの視点

課題

大きな言葉に気をつけながら、文章の構成をとらえよう。

12	11	9	8	7	3	2	1
		10			4		
					5		
					6		

○はじめ、中、おわりという構成は分かりやすい。

○問いの文と答えの文を使っているのは説得力がある。

○終わりの部分に、筆者の考えがまとめて書いてある。

○大事な言葉をうまく使って自分の考えを効果的に伝えている。